

学校教育目標 心豊かに学び合い、ともに伸びる子

知

豊かな人間関係の中で学び合い、
自分の考えを深める子を育てます

徳

相手の心を思いやり、
共に生きていこうとする子を育てます

体

心身の健康を大切にし、
自分や人の生命を尊重する子を育てます

公

地域の人やものとのつながりを大切にし、
地域と共に生きる子を育てます

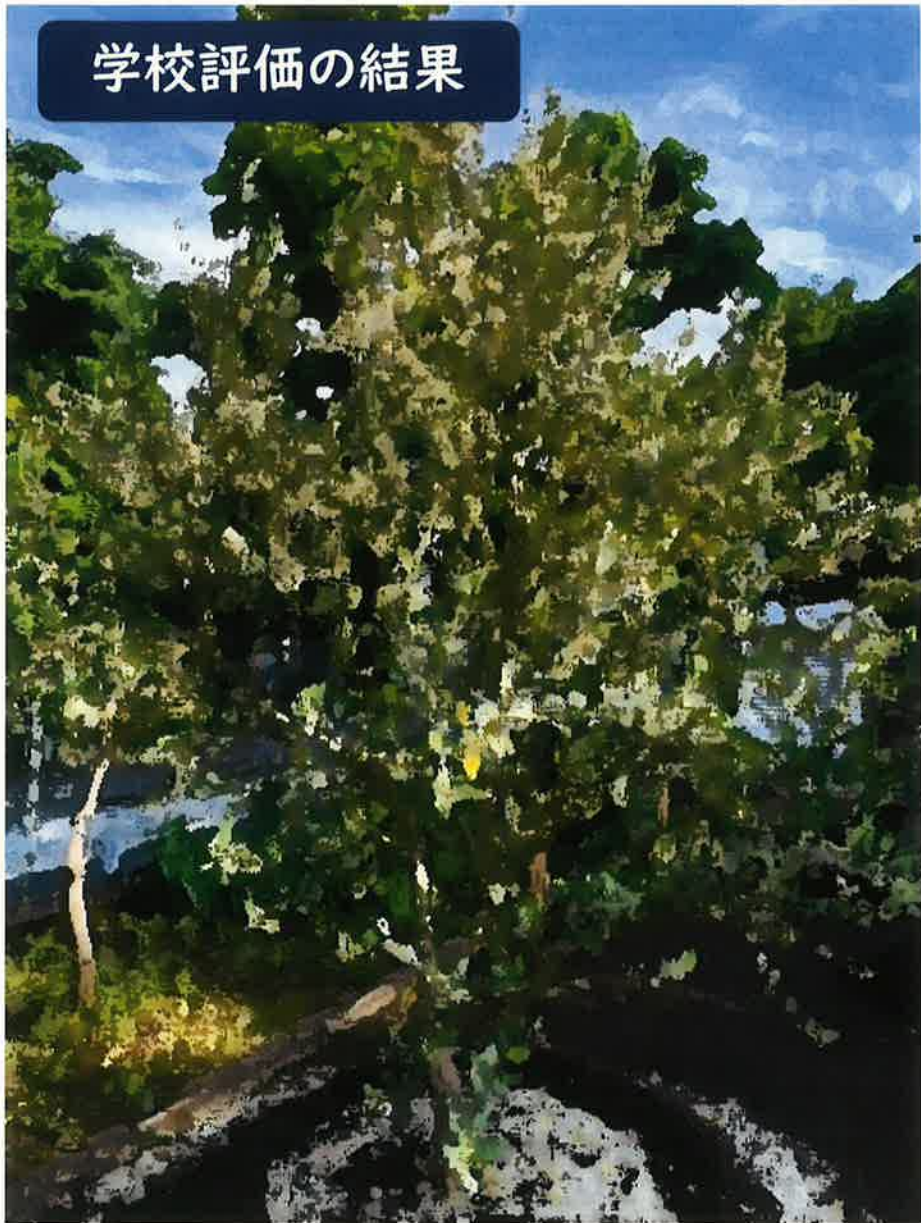
開

広い視野で物事をとらえ、
豊かな生活の向上に取り組む子を育てます

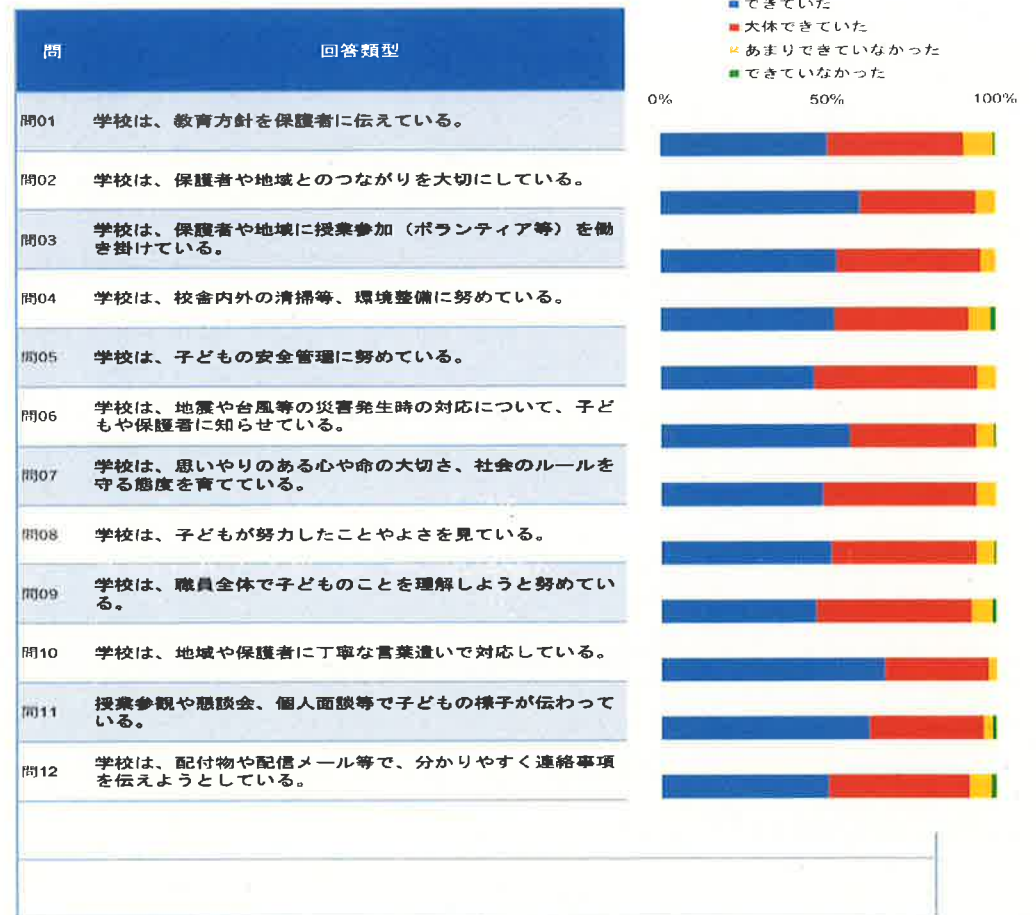
教育活動全体 で目指していく



学校評価の結果



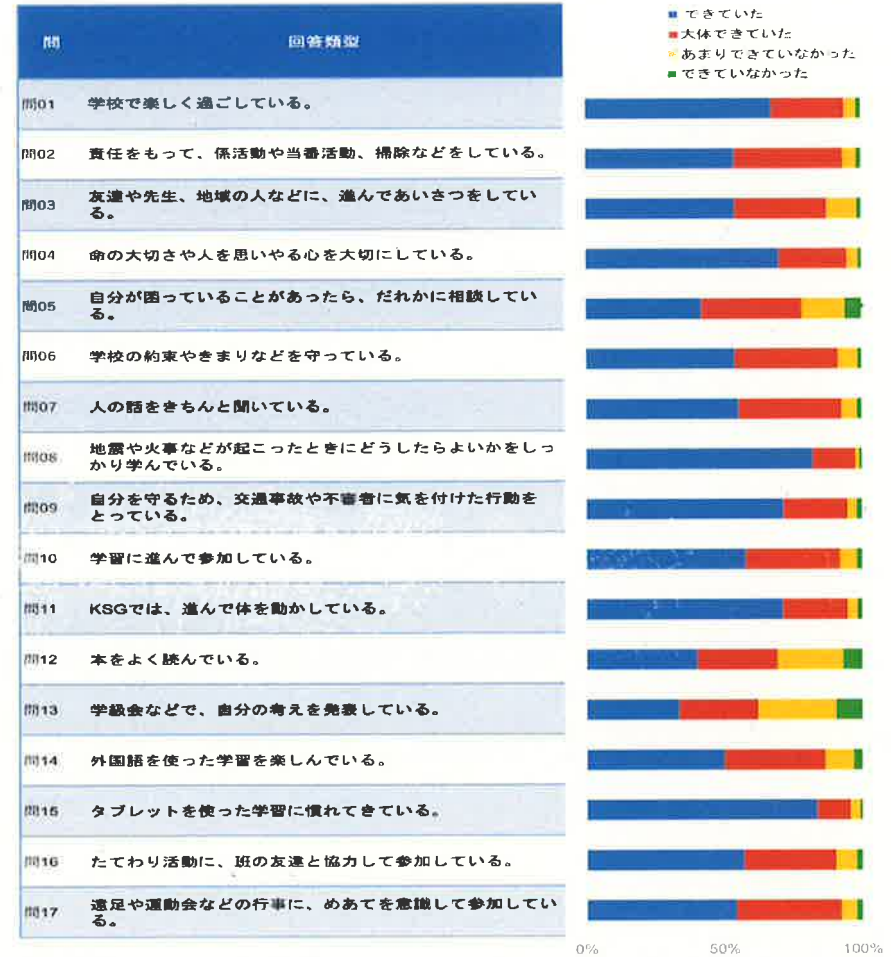
学校づくりに関するアンケートの結果(保護者回答)



学校評価の結果



学校づくりに関するアンケートの結果(児童回答)



- 児童の問題解決能力を高める。
- 児童の自主的活動および態度を育てる。
- 児童の思いやりと信頼の心を育てる。
- 児童相互の連携をもたせる。
- 児童と児童が住んでいる地域の人々とのふれあいを大切にしていく。

組織で育てる

「心豊かに学び合い、ともに伸びる子」

「ふれあい豊かな学校づくり」

たてわり活動が軸

「心豊かに学び合い、ともに伸びる子」

「心豊かに学び合い、ともに伸びる子」の実現のために
～つなげる たてわり活動～

たてわり活動

【目標】

異学年との交流を通して

自分の役割を考え

みんなで楽しい

学校生活を創り上げていくことができるようにする

これまでの経緯

2005年から全学年で活動するたてわり活動をスタートさせた。本校では、たてわり活動を活性化させることが学校教育目標の実現につながると捉え、教育活動の軸として、位置付けている。例年5月には全校遠足、週1回の集会活動、運動会（たてわりペア競技）、年3回のわくわくランチを軸に、たてわり活動を進めてきた。

また、1・6年と2・4年、3・5年は同じフロアに教室を配置し、ペア学年同士でフロア経営をしてきた。たてわり活動を充実するために、特活部だけでなく、子ども支援委員会の中に「たてわり担当」を置き、代表委員会と同時に「たてわりキャプテン会議」を行うようにしている。

ペア集会

年3回

たてわり集会・たてわりランチ

年3回

たてわり班で給食を食べる。

たてわりウォークラリー

5月14日

運動会

10月24日

ありがとうの会

3月5日



小机らしさを発揮するとは？

学校の特色を生かし、5種類の学校行事を行う

評価のキーワード
行事のねらい

評価のキーワード
役割

評価のキーワード
合意形成・意思決定

評価のキーワード
関心

評価のキーワード
見通し・振り返り

他教科とつなげるのキーワード
相手意識

他教科とつなげるのキーワード
目的・意図

他教科とつなげるのキーワード
分析

儀式的行事

清新な気持ちを味わい生活に折り目を作る

入学式 卒業式

始業式 修了式

離任式 昼会等

文化的行事

文化や芸術に親しみ豊かに生活する

学習発表会 (2月授業参観)

芸術鑑賞会 等

健康安全・体育的行事

健康な心と体、安全な生活をつくる

運動会 球技交流会

健康診断 防災訓練

避難訓練 等

遠足・集団宿泊的行事

互いを思いやり、協力し合うことの大切さを知る

遠足 自然教室

修学旅行 等

勤労生産・奉仕的行事

人の役に立つ喜びを知る

大掃除

地域清掃活動 等

小机らしさ

たてわり活動

「心豊かに学び合い、ともに伸びる子」の実現のために
～小机らしさあふれる活動～

和平小学校との交流

日本との文化の違いに気付き、様々な関わり合いを通して、自他のよさを認めようとする態度を育てたい

和平小との歴史

- 2015年 マーチングの活動を知った和平小が、小机小学校に交流を依頼
- 2016年 和平小学校が小机小学校に来校し、一部児童同士の交流が始まる
- 2017年 和平小学校が小机小学校に2度目の来校 全校と交流
小机小学校の教員(中西先生)も和平小に派遣・視察・交流を行う

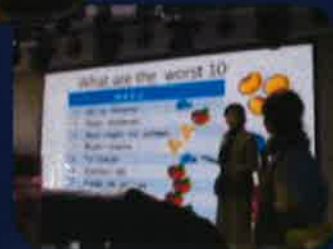
和平小と友好協定を結ぶ

- 2018年 和平小学校が小机小学校に3度目の来校 日本の遊びや習字の授業を一緒に行う
小机小学校の教員2名も和平小に派遣・視察・交流を行う
12月にも和平小が4度目の来校 **年度2回の直接交流。**

- 2019年 和平小学校が小机小学校に5度目の来校
小机小学校の教員2名も和平小に派遣・視察・交流を行う

和平小と友好協定を延長

- 2020年 **オンライン**で交流を継続(中西級) 給食のコラボとして和平小ウィークが始まる
- 2021年 オンラインで交流を継続(中西級)
- 2022年 オンラインで交流を継続(6年3クラス)「運動会について」
- 2023年 オンラインで交流を継続(5年3組で3月15日に実施予定)「お互いの町や学校の魅力を伝え合う」
- 2024年 マーチングでの交流を行い、和平小ウィークでは、国際交流委員会で活動をすすめた
- 2025年 和平小学校の教職員が来校、国際交流委員会の児童や教職員間で交流した



サクラソウ プロジェクト





サクラソウ

サクラソウ(桜草)は、サクラソウ科に属する多年草。湿った草原や河川敷に多く生息する。春に芽を出し、球根で増えていく植物。洪水で流されることも多く、「こづくえ」という品種があるくらい、昔は鶴見川沿いにも多く生息していた。

2007年には、環境省レッドリストの準絶滅危惧種に指定されている。

サクラソウプロジェクト

活動の経緯

準絶滅危惧種に指定されているサクラソウ。鶴見川沿いにサクラソウを増やそうと、新横浜公園と横浜サクラソウ会の取り組みとして、2009年からスタートした。近隣校に声が掛かり、小机小学校では継続して取り組んでいる。

現在は、地域コーディネーターが窓口となり、横浜サクラソウ会、新横浜公園の方と一緒に活動している。

活動当初からは、5・6年生の活動として行っていた。R2年度からは、サツマイモや町探検などで関わりのある2年生が一人一鉢の活動、社会科のまちの学習や総合的な学習の時間と絡めて3年生が新横浜公園への植栽と2年生への引継ぎを行っている。

R7年度からは、環境委員会でサクラソウの苗を育てる活動を行い、2年生が植栽を行っている。

地域コーディネーター
寺岡さん



栽培場所

藤棚の下で行う

⇒ フジが生い茂り、直射日光から避けられる。
水やりがしやすく、管理がしやすい。

栽培方法

<植え付け>

- ①赤玉土と腐葉土を混ぜた土を用意し、鉢の半分くらいまで土を入れる。
- ②サクラソウの芽が上に向くように置く。
- ③サクラソウの球根が隠れるくらいの土をかぶせる。

<管理>

- ・水を絶やさない(湿地に生息するため)
- ・直射日光を避ける

<新横浜公園の苗と株を植える>

増えた株と新たな苗を植える。

今年度は児童が一人1株になるように購入費用は、サクラソウプロジェクトの費用から

➡ R7からは委員会活動へ(自動散水の活用、技術員室前での栽培)

小机



物資支援プロジェクト

特定非営利活動法人

「らいちょう」と連携を

図り、物資支援を行っている

フィリピンの学校に、文房具・衣類・靴

ランドセル支援を行っている。

令和7年度より、城郷小学校、中学校でも実施。



ぐるぐるを意識して小机らしさを発揮するとは？

自ら学び、鍛え、高める子の育成
～基礎学力の定着～

小机小らしさ
パワーアップを目指して

教育課程上に位置付けて取り組んでいます

- 基礎基本を繰り返す
- 四則計算の力
- 語彙を増やす・言葉の意味が分かる
- 文章を読む・書く
- 集中して聞く

基礎学力の定着となる活動



5・6年生は外国語を実施

おやじの会

おやじの会の野菜作り体験



百聞は一見に如かず

子どもの笑顔を生み出す貴重な体験の場

月一度程度の 畑作業。夏の収穫・秋の収穫(コヅフェスで使用)



小机の祭り

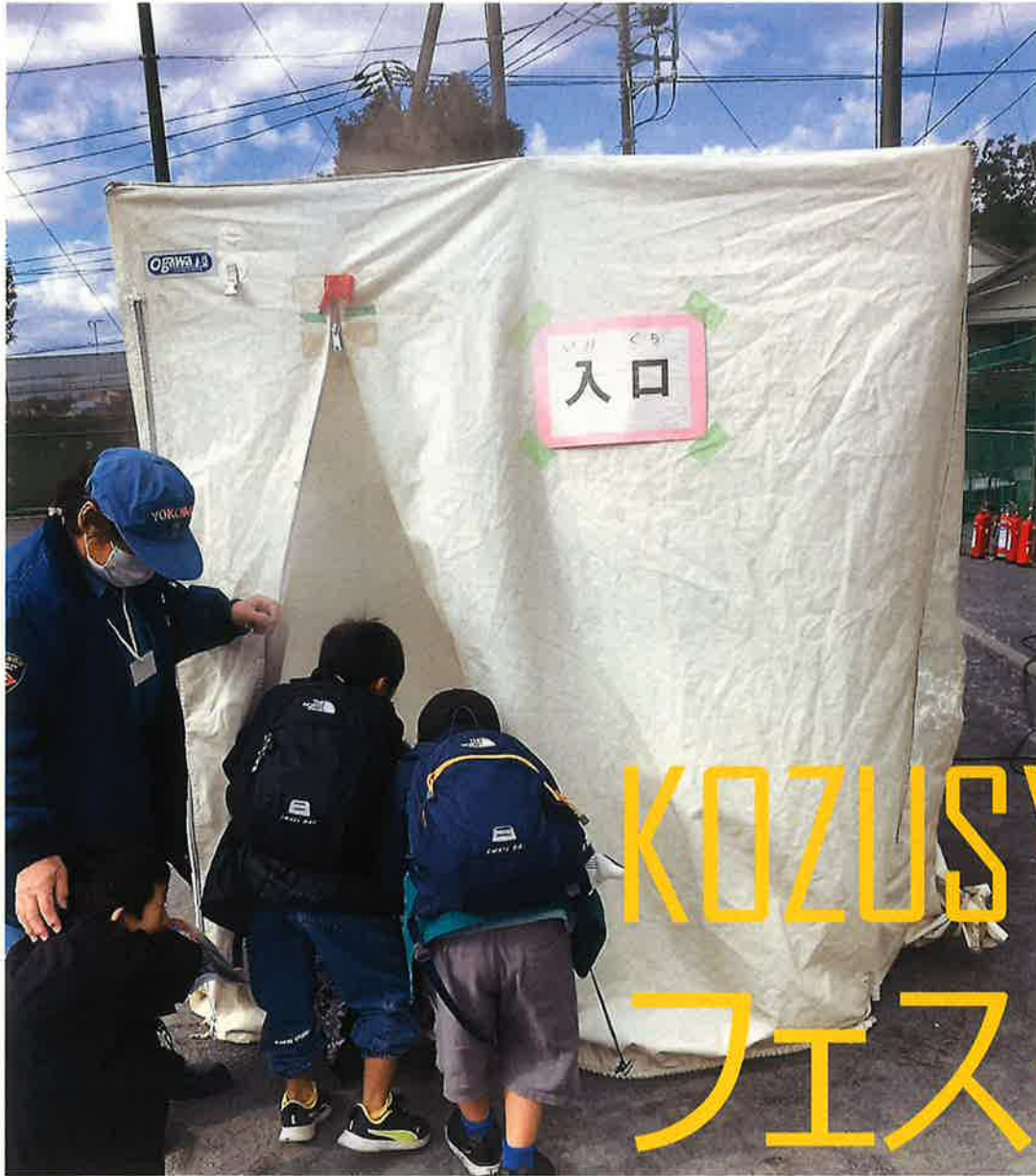
様々な祭りが開かれます
4月に城址まつり
7・8月に夏祭り
11月に竹灯籠まつり



PTAの方や地域の方が子どもたちの笑顔のために、長い時間をかけて準備をしています。



KOZUSYO
フェスタ



「ふれあい豊かな学校づくり」

地域と連携した 授業づくり

<R7年度の活動報告>

「心豊かに学び合い、ともに伸びる子」

学校教育目標 心豊かに学び合い、ともに伸びる子

R7年度 地域との連携

56組

「夏野菜をそだてよう」の学習では、苗の植え方や育て方について、JAの方々にお話をうかがい、一緒に植えていただきました。

5.6組では、教室前の花壇の場所に野菜を育てていますが、どの場所にどの野菜を植えるのが良いかという相談にのっていただいたり、苗を植える間隔や支柱の立て方を教えていただいたりしました。JAの方が支柱を立てる慣れた手つきに、子ども達から「すごいね。」と驚く声も聞かれました。

教えていただいたおかげで、育てた野菜を収穫することができ、「また、やりたい」という楽しい経験となりました。



学校教育目標 心豊かに学び合い、ともに伸びる子

R7年度 地域との連携



1年

小机幼稚園から「小学校ってどんなところ？」と質問を受けたことから、今年の幼保小連携がスタートしました。園児と一緒に楽しめる遊びを考えたり、学校探検で見つけたものを報告する文章を書いたり、「小学校に入学するのがもっと楽しみになって欲しい」と願いをもって活動しています。

実際に園児たちに会った児童は「こんなに小さかったんだ」「一緒に行こうと声をかけてあげられたよ」と自身の成長にも気付いている様子が見られました。ポピンズナーサリースクール小机とキッズパートナー小機の2園も加わり、3月までさらに交流を深めました。一緒に植えたチューリップの球根からは、きれいな花が咲きました。

学校教育目標 心豊かに学び合い、ともに伸びる子

R7年度 地域との連携

2年

「おいしい野菜をそだてよう」を目標にして、生活科の授業に取り組みました。JAの方々をお願いして学校に来ていただき、野菜の種の蒔き方や世話の仕方を教えてもらいました。おかげで、夏と冬の2回、自分の植木鉢で育てた野菜を収穫することができ、野菜パーティーを開いてみんなでおいしくいただきました。

また、新横浜公園の管理事務所や地域の農家の協力を得て、新横浜公園でサツマイモの苗を植える活動もしました。10月末にはみんなで収穫に行き、大量のサツマイモを夢中で掘りました。地域の方々のご協力のおかげで、豊かで深い学びとなりました。



学校教育目標 心豊かに学び合い、ともに伸びる子

R7年度 地域との連携



3年

「イエローガーデンで小机小のみんなをハッピーにしよう」を目標に、4年生やおやじの会のみなさん、地域にある土志田園芸の土志田さん、フレグランス会社のHANAEMIさんにお力添えをいただきながら、園芸や花やレモンの活用について学習を進めてきました。子どもたちは、植物や様々な人との関わりを通して、自然のよさや大切さについて改めて考えたり、専門家の方の考えやアドバイスをもとに課題を解決したりすることができました。

学校教育目標 心豊かに学び合い、ともに伸びる子

R7年度 地域との連携

4年

学校の周りや通学路など色々なところで見かける「竹」をテーマに学習しました。学校の近くの竹林の成長を観察する活動を通して、竹が自然に与える影響について学びました。竹林の整備には伐採が必要であることから、小机城址公園の「竹灯籠祭り」を知り、切った竹の活用として、灯籠を作りたいと考えました。城郷青年部の方の協力をいただき、世界に一つだけの竹灯籠を制作しました。今年度も竹灯籠祭り前夜祭を本校校庭で開催することができました。そして、余った竹の更なる活用として、楽器作りに取り組みました。竹の形、重さはそれぞれ異なります。そんな唯一無二の素材のよさを活かし、美しい響きが生まれました。



学校教育目標 心豊かに学び合い、ともに伸びる子

R7年度 地域との連携



5年

R6年度の5年生から引き継いだ「横浜オリーブプロジェクト」。今年度はオリーブの枝葉の活用にスポットを当て、横浜資産研究開発機構さんのお力を借りながら活動を広げました。オリーブの葉をパウダー化し、地域活動支援センター「ごぼうハウス」さんと共にオリーブパウンドケーキを商品化したり、Saryu's teaさんと連携して、オリーブフレーバーティーを開発したりと新たに活用の幅を広げることができました。

また、「城郷フェスタ」や「ネイチャーキッズフェスタ」などに参加して、学習の成果を広く発信することができました。「GREEN×EXPO2027」への参画に向けて、今後もさらに活動を発展させていく予定です。

学校教育目標 心豊かに学び合い、ともに伸びる子

R7年度 地域との連携

6年



「情熱」と「城を盛り上げたい」という気持ちを掛け合わせて「城熱(じょうねつ)」と書いています。小机城址祭りの調査から学習をスタートし、城について、横浜市ふるさと歴史財団の方や小机城のあるまちを愛する会の方にお話を伺いました。調べるうちに、まちの魅力をもっと広げたいと感じるようになりました。城の魅力を説明する文章やまち歩きリーフレットを作成し、区役所や横浜市歴史博物館等、様々な場所に置かせていただきました。またパシフィコ横浜で開催された「お城EXPO」にも展示、掲示を行い、発信に努めました。

その後「和菓子の商品開発チーム」「手作り甲冑チーム」「港北区の魅力動画づくりチーム」に分かれて活動しました。地域の和菓子屋「折本や」さん等様々な専門家の方にご協力いただき、活動を広げながら学習を進めました。

「ふれあい豊かな学校づくり」

戦略的に計画・実施
していきます

「心豊かに学び合い、ともに伸びる子」

小机小のシンボル かしわ

かしわの木

つのだ かずゆき文
つのだ かずゆき絵

しょうこうぐちの よこにある
かしわの木を見ることがありますね。
学校のマークにも、かしわの はっぱが
入っています。そんな、かしわの 一年を
見ていきましょう。

春になると、あたらしいはっぱが でて
きます。まいにち、まいにち、かたちを
かえて、大きく、つよくなっています。

それと、どうじに、かしわは花をつけま
す。
はっぱのあいだから、たれさがっているのが
花です。

花が かれたあとも、はっぱは、さらにつ
よく、大きく、そだっていきます。とても
がっしりしているので、夏になると、はっぱ
のかげに、かくれる、生きものがでてきま
す。ときには、せみのぬけがらがついている
こともあります。

秋になると、とげとげの、ぼうしをつけ
た
どんぐりがあります。どんぐりあそびに
も、つかえるので、わくわくしますね。



ふゆになると、はっぱは、ちやいろく
なり、かれています。でも、はっぱ
が おちないでくっついて、います

ふゆの おわりを、かんじるようにな
ると

かれた、ちやいろの、はっぱの、あいだか
ら、あたらしいめがでてきます。

そうして、またあたらしい、みどり
いろのはっぱが、生きてきます。

ふるい、はっぱと、あたらしい、はっぱ
が、たえまなく、入れかわる、ことか
ら「せたいが、とぎれずに、ずっとつづ
いていく」と、えんぎの、よい、木と、言
われています。

みなさんも、まいにち見ている、かし
わの、木のよさを、せび、さがして、見
つけてほしいと思います。



小机小のマスコット

かしわくん もっちいちゃん

あいさつ運動マスコット

